

特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）第22回全国大会 in 大阪
大会アピール文

精神障害者の地域での生活をより「居心地よく」「あたりまえ」のものにするための活動を行うすべての者が「あみ」の仲間です。仲間とは人と人とのつながり。つながりとは、誰かとのかわりを通じてお互いの中に誕生する安心感。私たちは「あみ道^{ロード}～ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ～」今回の大会テーマを通して、つながりを原動力に21年間歩んで来た、『精神障害者の地域生活支援という道』を、改めて振り返る機会と同時に「あみの仲間」712人と互いに絆を深める機会となりました。

あみは、精神障害者の生活を支える制度が何もなかった時代に結成され、今日^{こんにち}に至るまで、精神障害者の地域生活を支える仕組みづくりを追い求め、その足を止めることなく歩み続けてきました。しかし、一方で、障害者自立支援法、障害者総合支援法の法改定を経て、精神障害者の地域生活を支える制度や施策が進んできました。地域で暮らす精神障害者の気持ちを原点に仕組みづくりを追い求めてきたはずが、いつの間にか制度に精神障害者の生活を当てはめようとしている逆転現象が起こっているのではないのでしょうか。

その流れを変えていくためには、あみを通じた様々な人々の「つながり」が必要だと思います。

つながりは「災害」でも壊すことのできない「夢」の原動力

つながりは「語り合う場」とともに「語り継ぐ場」の原動力

つながりは「私たちは諦めない」という強い想いの原動力

つながりは「人を信じる勇気」の原動力

つながりは「ピンチを活かす力」を実践する原動力

私たちのいまこの瞬間の想いが、『この国に生まれたる不幸』を覆^{くつがえ}す一足^{ひとあし}となり、こころ病んだ人々が、その人らしい生活を手放すことなく笑顔になれる社会の実現をめざします。そのために、安心できる場で人と出会い、ゆるやかなつながりを支える実践活動を、大阪大会でつながった「あみの仲間の絆」を原動力にします。

あみ道^{ロード}は、ひとをつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐ

人は歩みを止めた時、そして挑戦をあきらめた時、チャンスを失う

この道を行けば どうなるものか 危ぶむことなかれ

危ぶめば 道はなし

ふみ出せば その一足^{ひとあし}が 道となり その一足^{ひとあし}が 道となる

歩いて行け！ 行けば わかる！

2018年7月14日

全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ） 第22回 全国大会 in 大阪 参加者一同